



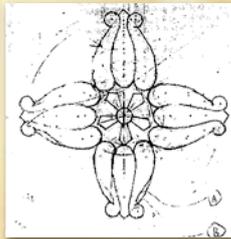
鳥海ふすま



こまくさ



細梅久弥 先生



取付作業を見守る遠藤校長(右)と飯野委員長(左)

山形東高 同窓会 会報 第73号

令和3年4月20日

【発行所】〒990-8525 山形市緑町1-5-87
山形東高同窓会事務局
TEL・FAX (023) 631-7501
【URL】 <http://www.yamatoudousoukai.com>
【E-mail】 info@yamatoudousoukai.com
【発行人】 渡辺 季子
【印刷所】 坂部印刷(株)TEL (023) 631-2056

山形中学から新制高校へ 東高の校章談義

『あゝ我が紅顔』(平7発行)は東四会の卒業40周年記念誌である。表紙と挿絵は細梅久弥先生(山中44回・昭22～48母校勤務)。その原画をいただいた。緑濃き正門のたたずまい、昇降口と風そよぐ柳の大木、上下式の木枠の窓、よれた学帽に下駄、用務員室の囲炉裏にはげろ熾火。—昭和20年代の山東の時間がよみがえる。さらに、先生の寄稿された一文で、再生された時間は一気にリアリティを帯びる。

「東高の校章談義」—そこには、校章誕生のいきさつが語られてあった。

戦後間もない昭和23(1948)年、学制改革により山形中学は山形第一高等学校として出発することになった。長年親しまれた「中学」の校章に代わりうる、新しい校章を作らねばならない。気概を胸に、準備は着々と進んでいった。

「草案の作成と、発表が急がれており、構成とデザインは若い芸術科担当教師が当たることは当然と思われた。草案作成に直面して、まず準備として思ったことは、全国で使用された帽章のデザイン、徽章、旧制高等学校などの帽章を収集して、発想の参考にすること、また日本古来の伝統的な紋章を検証してみるなどであった。苦心の結果、幸いそれに相応しいかなりの資料を収集することができた。学術に関するアイデアが浮かばぬものかと、ギリシア神話を読んでみたりもした。

デザイン構成の基礎条件としては、山形県でも、日本国内でも、誇れるものでありたい。できれば国際的でもありたい。本県に関わるものとしては、米、桜桃、リンゴ、黒百合、こまくさ、紅花、鳥海ふすま等々がその構成の素図となった。

試行錯誤の末に、多くの中から五つの草案に絞り、職員会議にかけるに当たって、

実物で提示しようと専門業者に五個を依頼することにした。出来上がっての前評判は『紅花』のデザインのようにであった。」

会議のために作られた五つの校章。その中から、いよいよ新しい校章が決定する日がやってきた。

「会議にかかる当日の朝、最終的推敲にと生物準備室でぶ厚い『牧野植物図鑑』で検討してみることにした。ところが『紅花の根は婦人病の薬云々』とある。また外国渡来の植物、これでは帽章、校旗として戴くわけにはいかないのではと、いたく困惑した。会議では、やはり前評判通り『紅花』が賛成の意向であった。」—先ほど見た図鑑の話をしなわけにはいかない。先生は、意を決して発言を求めたのだろう。

「図鑑の記事で弁明につとめた結果、私のデザインのものが採択され、現在の校章が誕生したのである。その校章は、四方に広がる蔵王の『こまくさ』を十字形にして、中央に五弁の『鳥海ふすま』を配置したものである。『鳥海ふすま』は、山形県でしか見られない貴重な高山植物、そのうえ世界的にも山形県にのみある植物という、何か世界的広がりを持ったものにもなった。『こまくさ』は蔵王山頂に咲く“清々しさ”と“清廉さ”という二つの花のイメージを組み合わせ、中央に“心の鏡”という意味合いも含めて構成したデザインである。」

虚空をしのぐ羽前の名峰で風雪に耐え楚々と咲く花々は、質実剛健の象徴にふさわしいと誰もが思ったことだろう。しかし、異論が出た。

「旧山形高等学校(現山形大学)の帽章のデザインは、この鳥海ふすまの蕾を真上から俯瞰した構成、当時、仙台にあった二高(現東北大学)の蜂のデザインと共に日本での二大グッドデザインとして知られていた。校章採用の職員会議で旧制山高に類似しているとの異論も出たが、学制改革で旧制山高も廃止となるとのことで現在の校章が可決となった。」丁々発止の応酬に校章に寄せる思いが伝わってくる。

昭和57(1982)年、かつての原図を元に新たに引き直した校章の製図を持ち、先生は山東に向かった。新校舎の塔屋に校章を掲げる計画に、協力を求められたのだ。直径2.5メートルの青銅製、県下一の校章が完成した。鋳物工場での見学会、「細梅もわざわざ来てくれ、立派な出来栄をともに喜んだのである」と、飯野光男 校舎改築委員長は『とっておきの山形東高校舎改築ばなし』(平4発行)に記す。

その日、先生の目には、完成した校章の向こうに、もう一つかつての光景が見えていたのではないだろうか。

「遠藤来二校長(山中54回)が、新築される校舎のシンボルの塔に『正しい校章』を掲げられ、当時のデザインの苦心を思うにつけ感激、脱帽の外ない。」「今にして、昔日の担当した校章のデザインの作業を思いみて、将来続くであろうことを思い、今更にその重さを実感している。今、僅かな資料を取り敢えず提示するが、今後とも昔の資料を整理し、後日に託したく思う。」と吐露された心情には、校章制作にかかわった者としての自負と重責へ畏れがにじむ。

— 細梅先生、後日に託された「続編 東高の校章談義」も、ぜひお聞きしたかったです。

(事務局 渡辺 季子 記)



ご挨拶

同窓会会長 高橋 一夫

(山東21回・四六会)

みなさん、こんにちは。「日常」がどういうものであったのかを忘れてしまうくらい長引く「非日常」が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

身近に見聞きするニュースといえば、新型コロナウイルスの感染者数、重症者数、死亡者数、およびそれらを端的に示す棒グラフといった有様です。

この新型コロナ感染の状況は全世界に広がっており、アメリカ合衆国では、1年前まで盤石と言われていたトランプ政権が、新型コロナ対応を見誤り、倒れてしまいました。

疫病が流行るとき、国民の経済や生活に大きな変化が生じ、この変化が政治ないし政権をも変えるという、昔からの人間の歴史を、今、私たちは、新型コロナで目の当たりにしました。そして、疫病の流行により生じた「非日常」が収束した時、「非日常」の前の世界に戻るのでしょうか。どうも、完全には戻れないようです。

なぜなら、私たちは、疫病という共通の脅威以外にも、世の様々な脅威に各々が晒されています。さらに、今回の新型コロナの影響が人によってはマイナスばかりでなくプラスに働く場合もあるからです。「歴史から学べ」とよく言われておりますが、先人のみならず今の時代でも気の利いた人達は合理的な対応を着々と図っていることでしょう。

そんなことを考えながら、思いを現山東高生に馳せますと、「たとえ、どんなことがあってもたくましく育って行って欲しいな。」と願わざるを得ません。人生の中で一番大切に、楽しい、思い出となる青春の真ただ中を、新型コロナから自由を奪われて生活しているわけですから。

しかし、きっと若さで乗り越えていくでしょう。若さよりも強いものはありません。年老いた今になって初めてこのことに気づきました。無くなってわかるなんて悔しいですけど。

私も、同窓会会長の3年目に入りますが、昨年の会報で書いた「同窓会の目的である『親睦を図ること』に焦点を合わせ努めます。」が、またしばらくお預けになります。

とにかく今は、互いに直接的な接触は避け、「新型コロナ撲滅」で一致団結してまいりましょう。



ごあいさつ

校長 須貝 英彦

(山東32回・槌音会)

校長として1年目の令和2年度は、コロナに始まりコロナに終わった年でした。入学式は1週間遅れで何とか執り行ったものの、全面的に学校が再開したのは5月25日のことでした。その後も感染予防のために部活動など様々な場面で制限があり、目標とする全国大会や県大会等が実施できず、3年生の多くは練習の成果を発揮することなく引退となってしまいました。その他各種行事が軒並み中止となる中でしたが、クラスマッチと山東祭はそれぞれ規模を縮小し、8月下旬の4日間に集中して実施しました。生徒は、コロナ禍にあっても今できることは何かを精一杯考え、一生に一度の高校生活のキラリと光る1ページとして心に刻んだことと思います。

3月3日には参加者を制限しながらも卒業式を挙行し、243名の卒業生が学び舎を巣立っていきました。彼らは普通科・探究科の体制になっての第1期生であり、山東の新たな時代のパイオニアとして、教員ともども試行錯誤しながら探究学習に取り組んだ学年です。大学、自治体、産業界等のご協力をいただきながら、自然科学、人文科学、地域課題等、自ら設定したテーマについて調査、研究、実践し、その成果をまとめて発表するという経験を通して培われた探究心の芽は、将来、社会に山積する課題に立ち向かう際に、大きく花開くものと期待しています。

ところで、コロナ禍は校長の仕事の在り方にも大きな変化をもたらしました。従来は、校長会や各種団体の会議等への出席のため学校を開けることも多くありましたが、昨年度はそれらの会議のほとんどが中止やオンラインでの開催となったため、ほぼ毎日学校に居て、授業を見たり、校舎を巡回したり、様々な学校課題について先生方と議論したりしていました。考えてみれば、コロナ禍は校長としての本来の姿を取り戻すきっかけになったのかもしれません。

ただ残念なのは、同窓会まつりをはじめ、各支部の懇親会も全て中止となり、同窓生の皆様にお会いできなかったことです。今年こそはそのような機会がもてることを心から祈念しあいさついたします。

令和2年度事業報告

コロナの影響で多くの事業が中止となりましたがこれを糧として新たな活動へつなげていきたいと思います

令和2年

- 4月13日 事務局会議
事務・業務分担
4月16日 令和2年度入学式(学校)
6月1日 会計監査

- 6月25日 第1回役員会
令和元年度事業報告・決算
監査報告/令和2年度事業計画とコロナ禍への対応・予算
7月9日 全国大会出場者激励会
8月26日 第2回役員会
令和3・4年度役員選出
同窓会表彰・受賞者選出
8月28日~29日 山東祭(学校)
10月17日 第1回評議員会(総会代替)
第1回・第2回役員会と同じ
10月29日 創立136周年記念式典(学校)

- 10月30日 山形市役所東高会より母校へ寄付金贈呈
12月10日 松田杯等四賞授与(学校)



全国大会出場者激励

令和2年度 予算執行状況

(令和2年4月1日～令和3年1月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,600,000	484,000	7,084,000	7,070,000	ゆうちょ銀行1,242件、コンビニ1,105件
入会金	1,175,000	0	1,175,000	1,175,000	5,000円×235人
積立金より	0	0	0	0	
繰越金	482,204	0	482,204	482,204	
雑収入	400	△ 389	11	11	利子
合計	8,257,604	483,611	8,741,215	8,727,215	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	90,000	△ 902	89,098	89,098	資料印刷、送付費等
会議費	400,000	△ 26,1950	138,050	138,050	評議員会
表彰費	50,000	△ 36,140	13,860	13,860	永年勤続感謝状、副賞
会報発行費	3,070,000	36,861	3,106,861	2,129,401	16,800部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	△ 15,000	125,000	104,492	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	0	140,000	85,482	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	30,000	0	30,000	30,000	事務補助費
生徒活動支援費	300,000	△ 250,000	50,000	40,000	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	15,540	45,540	45,540	同窓会賞副賞、賞状筆耕、会長印
活動推進費	600,000	△ 600,000	0	0	
資料整備費	30,000	49,150	79,150	79,150	明治期生徒図画集保存等
事務費	1,250,000	0	1,250,000	998,985	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	0	1,100,000	1,100,000	山東教育後援会へ
積立金	200,000	250,000	450,000	200,000	同窓会基金、校史資料整備費へ
振込料金	410,000	20,000	430,000	419,075	ゆうちょ銀行、コンビニ、振替通知書
予備費	417,604	1,276,052	1,693,656	0	
合計	8,257,604	483,611	8,741,215	5,473,133	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

令和3年度 予算(案)

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差額(A-B)	摘要
入会金	1,215,000	1,175,000	40,000	5,000円×243人
積立金より	0	0	0	
繰越金	1,690,000	482,204	1,207,796	
雑収入	400	400	0	
合計	9,705,400	8,257,604	1,447,796	

支出の部

(単位：円)

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差額(A-B)	摘要
会議費	500,000	400,000	100,000	役員会、評議員会
表彰費	800,000	50,000	750,000	表彰状、記念品
会報発行費	3,100,000	3,070,000	30,000	16,800部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	140,000	0	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	140,000	0	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	30,000	30,000	0	事務補助費
生徒活動支援費	300,000	300,000	0	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
活動推進費	650,000	600,000	50,000	支部総会お祝、若手学年支援、旅費
資料整備費	240,000	30,000	210,000	展示環境整備等
事務費	1,490,000	1,250,000	240,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	1,100,000	0	山東教育後援会へ
積立金	0	200,000	△ 200,000	
振込料金	430,000	410,000	20,000	ゆうちょ銀行、コンビニ、振替通知書
予備費	65,400	417,604	△ 352,204	
合計	9,705,400	8,257,604	1,447,796	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

—維持会費の振込みは、郵便局ATMかコンビニで一括して—

コロナ不況の続く中、例年にもまして維持会費にご協力いただきまして心より感謝申し上げます。振込料金の支出が令和元年の一斉値上げにより、40万円以上に急増しております。実収入を確保するために、振込みの際はぜひ、料金(同窓会が負担)が少ない郵便局のATMかコンビニをご利用下さい。

郵便局の窓口(130円→203円)・ATM(80円→152円) コンビニ(120円→165円)

ご家族など複数で振込まれる場合、「郵便局」専用振込用紙の「通信欄」にそれぞれの氏名・卒業年・金額を列記し、合計金額を一括してお振込み下さい。

銀行のネット取引サービス(無料)や、ゆうちょ銀行の電信振替のご利用もどうぞご検討下さい。

令和3年

2月5日 山東教育後援会へ寄付金贈呈
第3回役員会
令和2年度補正予算



松田杯等受賞者

令和3年度事業計画・予算
まつり開催曜日の再検討
令和3年度まつり
令和4年版会員名簿発行
2月19日 山形県庁東高会より母校へ
寄付金贈呈
2月22日 第2回評議員会(書面決議)
第3回役員会と同じ内容
3月2日 同窓会入会式
令和3年卒 山東71回
健穩会(けんおんかい)
評議員 國井信之介

3月3日 令和2年度卒業式(学校)
同窓会特別賞授与



市役所東高会より寄付贈呈

令和2年度 第1回評議員会(総会代替)

令和2年度 第1回評議員会(総会代替)次第

日時 令和2年10月17日(土) 17時30分～
会場 ホテルメトロポリタン山形

1. 開 会
2. 黙 祷
3. 会長挨拶
4. 校長挨拶
4. 議長選出
5. 協 議
 - (1) 令和3・4年度役員選出、任命
 - (2) 令和元年度事業報告
 - (3) 令和元年度決算並びに監査報告
 - (4) 令和2年度事業計画並びに新型コロナウイルスへの対応
 - (5) 令和2年度予算
 - (6) 令和2年度同窓会表彰 受賞者選出
 - (7) その他
6. 報告・連絡
 - (1) コロナ禍での卒業式
 - (2) その他
7. 閉 会

コロナ禍により何かと例年通りにはいかない昨今の状況下、残念ながら当初10月17日(土)に開催を予定しておりました「令和2年度同窓会総会・表彰式・まつり」は中止のやむなきに至りましたが、その総会に代わるものとして「第1回評議員会(総会代替)」が同日17時30分よりホテルメトロポリタン山形・霞城の間を会場として開催されました。以下にその概況をご報告申し上げます。

当日の出席者は役員20名、評議員20名、委任状提出42名、加えて学校側から須貝校長をはじめ職員7名のご参加をいただきました。冒頭、ご逝去された会員の皆様に謹んで哀悼の意を表して黙祷をささげ、次いで高橋会長よりコロナ禍により校内駅伝大会をはじめとして様々な学校行事が中止となり、生徒を対面支援する場がなくなって残念ですが、会報の「東の風」コーナーなどで生徒の活躍を伝え、支援の一助としたいということと、次回の評議員会は平成3年度の「まつり」について協議を行うので、コロナと共存した「まつり」の開催方法について皆さんのお知恵を貸していただきたい、というご挨拶をいただきました。4月からご着任の須貝校長からは、生徒・教諭・教頭・校長と母校に4度目のご縁を得て精一杯務める所存ですということと、学校の近況についてのお話をいただきました。

会則に従って高橋会長が議長に選出され、協議事項に入りました。「令和3・4年度同窓会役員選出・任命について」は役員全員の再任が拍手で承認されました。(15頁参照)次いで、「令和元年度事業報告について」「令和元年度決算並びに監査報告について」「令和2年度事業計画並びに新型コロナウイルスへの対応について」「令和2年度予算について」「令和2年度同窓会表彰 受賞者選出について」すべて事務局の提案通り拍手で承認されました。最後に報告・連絡事項として「コロナ禍で開催された卒業式」の様子などが紹介され、18時15分に散会しました。

(校内幹事長 寺崎 昌尚 記)



令和3年度

同窓会総会・表彰式・まつり

令和3年10月16日(土)
ホテルメトロポリタン山形

- ◆ 日 程：総 会／午後5時～
表彰式／午後5時30分～
まつり／午後5時50分～
- ◆ 出 席 者：来賓、受賞者、喜寿者(三山会・龍雲会)
役員、評議員 約200名
- ◆ チケット：販売しない
- ◆ 当番幹事：継世会(山東33回)
東節会(山東55回)

【開催にあたって】

感染対策を重視して、出席者を会場の収容人数の50%にあたる200人に縮小し、チケット販売は行いません。「まつり」は短時間で料理も個々に準備いたします。

安心してお集まりいただけるように、慎重かつ柔軟な対応をしていきますので、どうぞご理解下さい。

新型コロナウイルス感染拡大状況により開催内容に変更が生じた場合には
同窓会ホームページ [<http://www.yamatoudousokai.com>] でお知らせします

令和2年度 同窓会功労者表彰

《支部長功労》 かいのこうじ 海野紘治様 (山東12回・東睦会)

【表彰理由】

平成12年の山中・山東東海同窓会の発足時より支部役員として組織づくりと活性化に力を注がれ、平成22年からは10年間にわたり会長を務められ時宜を得た社会問題をテーマに講演を企画するなど深い識見と実践力で牽引されました。東海同窓会の発展と啓発に寄与されたご功績は誠に顕著であります。

長年にわたる同窓会活動に対するご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝を込めて賞が贈られます。コロナ禍のため、表彰式は令和3年に行われます。



山東13回・三山会「消えた喜寿の祝い」

一 昭和38年卒業の三山会は令和2年の同窓会まつりで喜寿の祝いを受けるはずであった。東高同窓生にとって、まつりでの喜寿の祝いは長い人生の大きな節目となり、かつ卒業以来となる友との再会の日でもある。2回目の当番幹事を終えた時から切望し、淡い期待を待ち続けた日でもあった。

だが、世は皮肉なもので、新しきウイルスが世界を覆い、人類はなすすべもなく、ただじっと家に閉じ籠もり、難を避ける以外に防ぎようのない時が来てしまった。酒と笑いと激論は御法度。ましてや「祭り」なんぞは論外の体。ああ！我が人生に一区切りができず、様にならない時間をズルズルと過ごす羽目になってしまった。なぜ我々の時に新型コロナか、とぼやいている。

二 だが振り返れば我が三山会のメンバーは歴史の流れに翻弄された年代といえる。

生まれは太平洋戦争末期。日本国中が爆撃され、空襲に逃げ惑う中、あるいは満州からの引き上げ船の中で生まれ落ちた仲間たちである。それでも戦後の混乱期を生き延び、母校山形東高等学校に入学した。雲が浮ぶ様をくもくもする、と表現した先生、チョークの飛び交う授業、高尚な憲法講義、始業の鐘と共に入室する先生、禁酒時代のシカゴにいるような先生たちに育てられ、昭和38年3月に卒業した。

しかし、そこは揺れ動く時代。ジョン・F・ケネディ暗殺事件、キング牧師のワシントン大行進、吉展ちゃん事件、鶴見・三池の重大事故と不安の年であったと共に、翌年に迎える東京オリンピックの槌音、高度成長時代、一極集中、経済至上主義の幕開けの年と時代が大きく変わる時であった。

一度目の当番幹事は母校94周年の年である。母校の体育館での祭りはジャンケン大会で大いに盛り上がる。二度目の当番幹事は2000年の年で21世紀の幕開けの年である。我々はそれにふさわしい祭りにと、頭を絞り、温故知新をテーマに東高の歴史を辿る「わが母校」のビデオを作成し、上映、そして樽神輿三基が会場を「いっせ、いっせ」と練り歩いた。

締めは、令和での最初の正月を迎えた年、2020年である。いよいよ晴れの喜寿の祝いを迎えたはずであったが、予想もできなかった、NEW COVID-19の襲来である。人類のその生活の営みに歴史的な変革を迫る出来事が待っていたのである。

三 三山会の名称の由来は定かではないが、高度成長時代に全国に散らばり、集まりにくい学年として散々会としていたのが、昭和53年の当番幹事を機に「三山会」と変えたと伝わっている。

地元では年数回の友の店で飲み会が続いた。定年を迎えた頃からは散り散りに成っていたメンバーが東京三山会を結成し、毎年春の花見会を催し、秋には山形に帰り、本家三山会、仙台三山会と合同の「秋のイモ煮会」を開催している。

卒業時に散り散りとなったメンバーは、また三山のそびえるふるさと山形に戻ってきた。メンバーは時代に翻弄されながら、これからも雄々しく生きようと思う。

(細谷 伸夫 記)



「わが母校」ビデオテープ



幹事学年記念写真

母

校

文武両道

近

況

おもな大学の合格状況

健穩会 (令和3年3月卒業)

今年度から大学入試が大きく変わり、大学入学共通テストが実施された。学校の臨時休業による学習の遅れに配慮した第2日程の設定、新型コロナウイルス感染症防止のための対策等、共通テストの出題傾向がどうなるかといった不安とともに、受験生にとっては気を配らなければならないことが多い入試であった。共通テストでは、公民、理科で得点調整が行われたが、昨年度までのセンター試験と比べ、各教科・科目の平均点が大きく変わることはなかった。

共通テストの全国的な平均点(900点満点)をみると、難関大合格の目安となる得点率8割を超える成績層が文系型、理系型ともに昨年度よりもやや減少した。特に得点率9割を越える層は減少しており、超難関大志望者にとっては個別試験での勝負となった。共通テストが変わるといって、過年度卒が少なく、

現役生の割合が難関大でも多い入試であった。

本校の概況は次の通りである。東京大学が推薦入試を導入してから6年目。今年度はじめて本校から3名が出願し(県内ではじめて)、3名全員が合格した(3名合格は全国で3校のみ)。探究科1期生であり、確かな学力と、探究活動により主体的に学ぶ力を身につけた成果と考えられる。京都大学の特色入試で1名合格。東京大学は現役合格5名、過年度卒合格5名であった。東北大については現役36名、過年度卒8名。今年度はAOⅡ・Ⅲ入試での合格者が現役で21名であった。これも、確かな学力とともに高校での探究活動等を通しての学びが評価されたものといえよう。関東からの合格者が増えており、山形県内での前期日程の合格者数は50名となっている。国公立大医学科については、山形大が現役で一般推薦(共通テスト必要)3名、前期(地域枠を含む)6名の合格。他の国公立大医学科と合わせると合計14名で、過去10年間で最も多量である。主な大学の合格者(現役)は北海道大11・筑波大6・千葉大2・お茶の水女子大1・新潟大13・金沢大1などである。

令和2年度(健穩会) 大学合格者数(延人数) 単位:人 ※現役合格のみ

【国立大学】

大 学	人 数	
北 海 道	11	
北海道教育	1	
弘 前	1	
岩 手	1	
東 北	文 教	9
	法	0
	経 理	4
	理 学	6
	医 学	1
	保 健	6
	歯 科	0
	薬 学	0
	工 学	6
	農 学	3
	全 計	36
秋 田	3	

大 学	人 数	
山 形	医 全	9
	全 計	44
福 島	2	
茨 城	1	
筑 波	6	
埼 玉	3	
千 葉	2	
お茶の水女子	1	
東 京	文 理	2
	計	3
東京外国語	1	
東京学芸	1	
横浜国立	2	
新 潟	13	
富 山	1	
金 沢	1	

大 学	人 数
静 岡	2
京 都	2
奈 良 教 育	1

【公立大学】

大 学	人 数
山形県立保健医療	1
東京都立	1
横浜市立	1
都 留 文 科	1

【私立大学】

大 学	人 数
岩手医科	1
東北学院	6
東北医薬	2
東北芸工大	2
獨協医科	1
慶應義塾	3
上 智	5
中 央	11
津 田 塾	4
東京理科	3
法 政	3
明 治	14
立 教	4
早 稲 田	6
立 命 館	11
そ の 他	23

【計】

大 学	人 数
国立大学	141
公立大学	4
私立大学	99
(国公立医学科)	14
(私立医学科)	4
合 計	243

全大学の合格者数は山形東高校のホームページ (<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでご覧ください。



体育・文化活動総況

令和2年度の部活動は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で例年とは全く違ったものになりました。

3月中旬から5月24日までは学校自体が臨時休校となり、6月からようやく部活動を再開することができました。再開にあたり、感染予防策を徹底するための点検チェックリストや競技ごとの留意事項を守りながら、週2日、各2時間以内というところから段階的に活動を広げていきました。しかし、多くの部が目標にしていたインターハイや全国規模のコンクール、その予選を兼ねた県レベルの大会やコンクールが軒並み中止となり、3年生にとっては、不完全燃焼のなかで部活動を引退せざるを得ない厳しい状況となりました。

そのような中で、いくつかの部では、3年生の最後の部活動成果の発表の場としての代替大会や校内での公演を実施することができました。

体育部では、野球部は7月12日(日)に夏の甲子園大会県大会の代替大会となる「県高校野球大会2020」が行われ、1回戦で日大山形高校と対戦しました。0対9で敗れたものの、強豪校相手に善戦しました。陸上部は7月18日(土)・19日(日)に、NDソフトスタジアムで県高校陸上大会村山最北地区競技会が開催され、3年生6名を含む20名が出場し、女子三段跳で2位入賞を果たしました。サッカー部は、7月25日(土)・26日(日)に、県高校総体の代替大会が行われました。25日(土)は山形明成高校と対戦し1対1の引き分け、26日(日)は

山形学院高校と対戦し1対0で勝利しました。本大会では8名の3年生が出場し部活動に終止符を打ちました。ソフトテニス部は、7月25日(土)に山形市総合スポーツセンターで代替大会が行われ、男子7ペア、女子2ペアの18名が出場しました。

文化部では、マンドリン部は6月21日(日)に、演劇部は6月27日(土)に、本校の山東講堂を会場に、入場者を保護者・本校生徒・本校職員に限定して、演奏会・公演を開催しました。吹奏楽部は8月1日(土)に、音楽部は8月6日(木)に、山形テルサを会場に定期演奏会を開催しました。3年生にとってこれまでの活動を締めくくる特別な意味を持つ演奏会になりました。

9月以降の部活動については、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策をしながらも通常活動に近い状態になっていますが、県外高校との交流試合等には制限がかかっている状態にあり、十分な部活動強化策が取りにくい状況にあります。体育部の全国規模の大会も無観客での開催が可能となり、それに伴う県レベルの新人大会や選抜大会の予選も開催可能となっています。文化部の発表会は一歩リモートでの開催となっていますが、徐々に制限が緩和されてきています。

令和3年度には何とか新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、通常の部活動が可能になることを期待しています。昨年度に新しく策定された「山形東高校体育部活動方針」に則り、決められた時間の中で効率的に活動し、成果を出してきた山形東高校の伝統を継承できるように期待します。今後とも同窓会の皆様の物心両面のご支援をよろしくお願いたします。

令和2年度 松田杯等四賞

《松田杯》フェンシング部

◇令和元年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Gender, Result. Includes 県高校新人大会, 全国高校選抜山形県大会, 全国高校選抜北海道東北地区予選会.

◇令和2年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Gender, Result. Includes 県高校新人大会.

《松田杯》卓球部

◇令和元年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Gender, Result. Includes 村山地区新人戦, 県新人戦, 東北選抜卓球大会.

《鈴木杯》奥山えりか(テニス部)

◇令和元年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Gender, Result. Includes 全国高校総体(宮崎インターハイ), 茨城国体テニス競技.

◇令和2年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Gender, Result. Includes 東北選抜ジュニアテニス選手権.

《矢野牌》放送部

◇令和元年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Rank, Result. Includes 山形県高校放送コンテスト, ラジオキャンペーン部門, テレビキャンペーン部門.

◇令和2年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Rank, Result. Includes 山形県高校放送コンテスト, ラジオキャンペーン部門, テレビキャンペーン部門.

《駒草杯》結城有紗(放送部)

◇令和元年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Rank, Result. Includes 山形県放送コンテスト新人大会, 第23回東北高等学校放送コンテスト.

◇令和2年度の主な成績

Table with 3 columns: Competition Name, Rank, Result. Includes 第44回全国高等学校総合文化祭高知大会.

同窓会特別賞

Table with 2 columns: Award Name, Recipient Name. Includes 《中村賞》大沼 然, 《木村賞》結城 有紗, 《探究賞》新関隆太郎, 《山形東高同窓会賞》土田 有馬, 《山形中学校東高東京同窓会賞》内山 観, 《山形東高等学校仙台同窓会賞》佐藤 夏帆.

体育 部

令和2年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

■ 全国大会

●JOCカップフェンシング大会兼2021年世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会選考会

Table with 3 columns: Department, Rank, Name. Includes カデ部門, 男子サーブル, 女子エペ, 女子フルーレ.

女子団体エペ

Table with 3 columns: Rank, Name. Includes 橋本 和花, 長岡 結衣, 大場 万藍.

■ 選抜大会

●東北選抜ジュニアテニス選手権大会

奥山えりか

●第45回全国高等学校選抜フェンシング大会北海道・東北予選会

Table with 3 columns: Competition Name, Rank, Name. Includes 男子団体サーブル, 女子団体サーブル.

■ 東北高校新人大会

【水泳】

Table with 3 columns: Competition Name, Rank, Name. Includes 女子200m背泳ぎ, 女子100m背泳ぎ, 男子100m自由形, 男子200m自由形, 男子200m個人メドレー, 男子110mハードル, 女子1500m, 女子100mハードル, 女子3000m.

【陸上競技】

文化 部

■ 全国大会

・全国高校総合文化祭

Table with 3 columns: Department, Rank, Name. Includes 朗読部門, アナウンス部門, 自然科学部門, 化学部門, 将棋部門.

・安達峰一郎記念世界平和弁論大会

高校生の部 最優秀賞 寒河江茜里

・東京神田ファンタスティックフィルムコンペティション2020

準グランプリ 探究部国際班YYWY(監督 若林哲平)

・山形県高等学校総合文化祭

将棋部門 総合文化祭賞 松本 望 (全国新人大会出場権)

・県高校放送コンテスト新人大会

Table with 3 columns: Department, Rank, Name. Includes アナウンス部門, 朗読部門.

■ 東北大会

・山形大学高校生朗読コンクール

山形大学学長賞 第2位 吉田 遥

・東北六県将棋ジュニア団体戦

女子の部 県代表チーム 優勝 松本 咲重
高校生の部 県代表チーム 準優勝 松本 望

・東北高等学校将棋新人大会

第5位 松本 望

・東北高等学校放送コンテスト新人大会

アナウンス部門 垂石ひなた/鈴木 美空
朗読部門 吉田 遥/佐藤 優奈
ラジオキャンペーン部門 「reWaction」
テレビキャンペーン部門 「故郷～郷土の味と友達の輪～」

・東北地区高等学校演劇発表会

優秀生徒講師委員 細谷 芽生

・山形県高校文芸コンクール

詩部門 佳作 仁藤 優/鈴木 佳汰 (R3東北大会出場権)
文芸部誌部門 優秀 『楽書 山東祭号』 (R3東北大会出場権)

※紙面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。

部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ (http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp) の「山東通信」に掲載しておりますのでご覧ください。

特別寄稿

国立病院機構仙台医療センター・ウイルスセンター長

西村 秀一氏

コロナ禍のもと、同窓会へのエール

—ふたつの思い出話から—



プロフィール

1955年 新庄市生まれ
 1974年 山形東高卒業／山東24回・東翼会
 1984年 山形大学医学部卒業
 山形大学医学部細菌学教室助手、米国
 疾病管理センター（CDC）、国立感染
 症研究所ウイルス一部主任研究官を経て
 2000年より現職

著書：『新型コロナ「正しく恐れる」』訳書：『史上最悪のインフルエンザ』『感染爆発＝見えざる敵ウイルスに挑む』『ワクチンいかに決断するか』『ケイティのふしぎ美術館シリーズ』等

はじめに

最近目にした大手メディアの報道で、母校が東大の推薦入試の成果で注目されているのを知った。東大云々は脇に置き、まずは良い評価をもらったことは素直に喜ぶ。これをきっかけに同窓会のウェブサイト初めて拝見した。そこで先の報道で紹介された探究型学習をはじめとする種々の教育の工夫を拝見し、頼もしくもまた自分がいた50年前にもこんなのがあったらと羨ましくも思った。

二つの思い出話

だからといって自分たち時代がつまらぬものだったというわけではない。私は優等生ではなく学び自体あまり記憶にない。だが、それでも心に残るものはたくさんある。その中でとっておきの二つをご披露する。ひとつは1年時のクラス担任、国語の故荒井吉雄先生が最初の授業でいきなり言われた言葉「Dogは犬ではないんだぞ」である。山形に出て来たばかりの新庄弁しか知らない少年にとって彼の村山弁丸出しのイントネーションが、この戸惑いを覚える言葉にさらに何とも言えない余韻を与え、それから五十年たった今でもあの時の声が耳に残っている。もうひとつは、3年時の英語担当の澁谷恒雄先生である。正直、先生の授業は苦手であった。毎回授業の初めに小テストがあるのだが、まともな点数をとったことがない。その先生に、卒業してずいぶん経ったある日、何かの機会があって、どこだったか裏通りの小さなバーでウイスキーをご馳走になった。そのときまだ医学生だった私は、生意気にもストレートでそれもダブルで遠慮なく頂き先生に散財させてしまった。その帰り道のことである。星のきれいな夜であった。ほろ酔い気分で東原の細道を歩きながら、ふと空を見上げて突然先生は呟かれた。「人類はいつか滅ぶんだらうな。」私は一瞬言葉を失った。そして何事もなかったようにその後雑談が続いた。このブラ歩きの中で彼から久しぶりに英語を習った。何でそんな言葉が出てきたか今となっては定かではないが、shotgun marriageであった。（そういえば1・2年時に習った英語の故後藤和弘先生の、スプリングに絡めた「アイのない結婚marriageはするな」というのもあった）。つぎは、ぜひ自分が先生にウイスキーをご馳走したいと思う。

思い出の4-50年後の自分への影響

私はときに大学でも授業もする。その際「ものの見方の話」から始めている。「対象が同じでも扱う人間の立場によってその理解・扱いが違ってくる。常にそれを意識すべし」といった話だが、もとはたぶん荒井先生の教えである。「犬」には生物学的「イヌ」だけでなく、たとえば「手下」のような、複数の意味がある。dogも然り。ひとつの言葉の意味するものは立場や場面によるということだったと思う。これは言葉だけの事ではない。大袈裟に言えば人のありよう、他人とのかかわり方にも通じる。常に自分の立場の偏狭さを知り他人の立場を慮るのだ。たとえば介護施設でコロナ対策

での経験。入居者の扱いでは手袋は二重に装着という県の指導がある。それに対し、私は煩雑になる現場の負担軽減を思い「血の海に手を突っ込む外科手術じゃない。二重は不要」と反発した。ところが当の介護職員からは「私たちの仕事はウンチに手を突っ込むような仕事。私たちには必要」と見事一本取られた次第。

話題は変わり澁谷先生の星を観て人類を想う発想、あの場面で思いがけないあの一言は強烈だった。そこから今得られることは、我々はコロナ禍や現代社会の行き詰まりを、目先でのみ捉えがちだが、長い歴史の流れの中で捉えていく見方も必要であるということ。それは、これから遙か先まで見据えることを意味する。我々は果たしてどこまで先を考え、今を生きるのか。対象はコロナだけではない。少子高齢化、経済、財政に環境問題、山ほどある。これから背負わねばならない、これまで経験したことのない過大な荷重である。

これからの人たちへ

敢て言う。山東は地域では東高で通じるが全国的にはほぼ無名である。野球部が、遠征先の京都でユニホームの二文字を見た地元の人から「東山でっか？」と聞かれたとか。また東大といえど世界の中では国内ほどのブランド力はない。結局、ものをいうのは人の属性ではなく個人の力である。それを育てる探究型学習大いに結構。どんどんやるべし。ただしそれは特別なことではない。米国では小学校1年から当たり前のように行われている。一方で、システムは違うが、超大国となった隣の国ではそのころから想像を絶するような受験戦争がある。チャンスは二度なく、失敗の許されない超高倍率の試練をくぐり抜けた中から能力的にも精神的にもタフな人材が続々出てくる。山形の枠にとらわれずに「国家の運命を雄々しく負わん」とする君らは、競争であれ協力であれ、これからどちらの人材とも対等かそれ以上に渡り合わねばならない。そこで問う。我が日本の何が売りか？私は、答えは人間の使い捨てではない敗者復活を許す社会だと思う。受験も含め少々の失敗でも努力でまた這い上げられる。そうやって有為の人材を拾い上げていける社会のありようだ。それをなくしてはいけない。

だが、国家云々自体もう古いのかもしれない。そんな偏狭で短いタイムスパンではない国家の枠を超えた、「人類の運命を負う」人材が山東から出てくれるのを期待する。

さいごに

確かに「個の力」が大事。だが、完全な個はない。必ず何かに属している。その意味で同窓会の存在は？自分の今と過去つなぐ帰点のようなもの、師と呼べる人たちそして時間軸での同異はあろうと同じ学び舎に学んだ仲間と自分を心で繋げてくれるもの、であってほしい。その意味で、コロナなんぞに負けてはいけない！やりようはある。むやみに怖れてやみくもに自粛を続けるのではなく、理性でコロナをかわして活動を維持して欲しいものである。

第71回卒業会名

けん おん かい
健 穩 会

【命名の由来】

私たちは、多くの俊英たちと主体的・協働的な学びを究め合わんとした3年の歳月を誇りに思う。

この間全世界で渦巻くコロナの災禍は、文武両道・質実剛健たらんとする私たちにも突然の休校を強い、鍛錬の成果を示す舞台を奪っていった。それでも身体健やかにして心意穏やかならんと相和し、苦境に打ち克つべく直向きに自学自習に励んできたのである。

創立136年の母校を巣立つ私たちは、予測困難な前途も勇健に拓き、安穩な世の燈とならんと決意し、ここに「健穩会」と命名する。(命名者 吉野 空飛)



卒業式

令和3年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



令和元年度ホームカミングデー 山東57回 和成会

**重友会(平成20年卒業・山東58回) のみなさんへ
結昇会(平成21年卒業・山東59回)**

30歳という峠に立った今 母校に帰って
恩師や仲間と楽しい再会のひと時を過ごしてみませんか
昨年はコロナ禍で中止となったので、今年は2学年を招待します
みなさんの参加をお待ちしています

- ◆ 日 時：令和3年8月28日(土)
山東祭の一般公開日/午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 内 容：若手学年支援費の贈呈・近況報告・懇談
- ◆ 申 込：8月18日(水)まで同窓会事務局へ

新型コロナウイルス感染拡大状況により開催内容に変更が生じた場合には
同窓会ホームページ [<http://www.yamatoudousoukai.com>] でお知らせします

知音ふあいる

若手会員のプロフィール紹介

佐藤 初姫 (平成20年卒業・重友会)

コロナ禍の里帰り出産を経て

昨春、高校卒業以来12年ぶりに山形に長期滞在しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下での里帰り出産でした。大学卒業後に日本経済新聞社に記者として入社。実力不足で悔しい思いをすることも多いですが、世の中が動く瞬間のドキドキが楽しくて走り続けてきました。そんな私にとって大人になって初めての「静」の時間でした。

2週間の自宅待機を経た後は、臨月のまあるいお腹とマスク姿で1日1万歩を目標に散歩する毎日。オシャレに生まれ変わった遊学館、佐藤屋さんが作るアマビエの生菓子——12年ぶりの山形は新しい魅力に溢れていました。高校時代に友人と長居したシベールのカフェでは懐かしさから、妊婦であることを言い訳に大量にパンを買いました。一方、シャッターの閉まった大沼デパートや丸八やたら漬の閉店は寂しさを感じずにはいられませんでした。母校に変わらず掲げられた「文武両道」「質実剛健」「自学自習」の力強い筆致にも改めて背筋を正されました。

正直、コロナ禍での出産は、思い通りにならないことも数多くありました。希望していた配偶者の立ち会いはかなわず、分娩台の隣に設置したスマートフォンを通じたオンライン立ち会い出産となりました。病院内には市内に住む両親さえ入れず、退院まで家族は誰も息子に会えませんでした。そんな状況でも心穏やかに妊娠、出産を迎えられたのは家族はもちろん、故郷のあたたかさにも包まれていたことも大きかったなあと感じます。

今回再認識した山形の良さを、これからたくさん息子にも見せてあげたい。そして自分も微力ながら、山形のことを考え、できることから恩返ししていきたい。春には仕事と育児に追われる日々が始まりますが、慌ただしさの中でもこの思いを忘れぬよう、ここに書き記しておきたいと思います。



創立136周年記念式典記念講演

日本の未来、山形の宝 山形東高生へ ～東方・西方見聞録～

榎原 憲二氏

今日の題名は「日本の未来、山形の宝 山形東高生へ」。ここに居る人達はこれから先、生きていく年数が全然違う。あなた方はこれからの未来を背負っていきます。間違いなく山形の宝です。これまでにビジネスで世界27か国を訪問して感じたことは「世界は広い」ということ。この世界の広さは、自分で外に出て、見て聞いて感じるしかないのです。人生においてチャンスがあったら、どこでもいいので、日本を出て見聞を広めてほしいと思います。

世界は広い。情報が溢れかえる現代社会を生きていくためには、自分なりの判断基準（常識）が必要です。そのもとになるのが、自分の知識であり教養。古典や歴史からこそこれを学んでほしい。学んだことが生きていく上で必ず役に立ちます。皆勉強してください。それでようやく「You're gonna be the next leader of the world」(Collin Powel の言葉)。

我々には「国家の運命ををしく負はむ」という校歌があります。アメリカで18年間ビジネスをやる中でいろんなやりとり、摩擦もありましたが、負けてられるか、自分が出た学校にはこの校歌があるじゃないか、と思いながら過ごしてきました。

■ 世界の中の日本

日本以外の世界地図はこうなっています。(世界地図を示す) 日本のことをFar Eastと言いますが、これは世界の中心ヨーロッパから見た Far East. 世界はこういう発想で見えています。この辺を中心に決められるものがいっぱいあります。例えばラグビーのワールドカップは元々 six nations (England, Scotland, Wales, Ireland, France, Italy) が始まりです。イギリスだけ多いのは彼らがルールを作ったからです。サッカーも同じ。オリンピックはフランス発祥だからライバルのイギリスはUnited Kingdom一国だけです。是非これからここに居る人達は、ルールを作る方になってほしいと思います。

■ Mentorと生活信条

私を作ってくれた人が2人います。1人は故会長、私の父です。仕事をやる上で、「大変なところから行け」「全社員参加の経営」「相手の立場を考えろ」ということを言われました。

もう1人は、私がアメリカで会社を創った時の合弁のパートナー。「Do it right at the first time, do it right every time.」何かする時に、まず最初にちゃんとやれ。毎回そうやれ。そうすると必ず結果はついてくる。と教わりました。もう1つは「Win a battle and lose the war.」battleは局地戦。交渉でお客さんをやり込めて満足しても、その先warに負けたら何にもならないだろうと。

私の生活信条は「返事は0.2秒、答えははい！かYES」「頼まれごととは試されごと」「できない理由を言うな、できることからやれ」これはある人の受け売りです。人から聞きたい話は、人に言う自分のものになりまずよと教わって、私はそれをことあるごとに言っています。

■ 会社紹介

ミクロン精密は、研削盤という丸いものを丸く削る機械を作っています。会社は蔵王に行く途中にあります。丸いものは何に使われているのかというと、圧倒的に多いのは自動車です。我々は自動車メーカーや部品メーカーに技術を提供していて、新幹線の車軸を支えるベアリング、日本一の芋煮会で使う建機などにも使われています。緑の下の力持ちのようなことをやっているのがミクロン精密です。

■ コミュニケーション

外国人と仕事をする上で大事なのは、コミュニケーション。英語＝国際人ではないです。もっと大事なことは、国際人である前に山形人、日本人としての自分を持っていること。その先に国際人として、いろんな外国人の人たちとやりとりが出来るのではないかと、これまでの経験で感じています。

国際とは何か。グローバルや山東探究塾と言うグローバル。ダイバーシティ、違いがあるものを受け入れる。私が思うには国際(くにぎわ)を越えてビジネスをやったり関係を築くこと。そこではコミュニケーション、つまり相手のやり方を理解して、こちらもやるということが大事なのです。

■ FAIR「誠意の通じない国」

雪が降った時に雪かきスコップの値段を2倍にして売るのは、日本人にとっては不誠実です。ところがアメリカ人にとってはフェアです。売れるか分からないスコップを仕入れて、リスクをとって持っていたからです。このフェアという概念が日本人には難しい。アメリカ人の判断基準はフェアかアンフェアです。このフェアは日本人にとって何かというと、誠意や誠実。アメリカでCaterpillarという会社に機械7台を最初に売る商談をした時、納期が遅れたらペナルティーを払えと言われました。私は、「うちは絶対に遅れない。信頼関係がなかったら仕事なんか出来ないじゃないか。

では支払い遅れたらペナルティ払ってくれるのか。」と言いました。そして相手は怒りだした。その時に、フェアというのがアメリカ人にとって押しどころだと知っていたので、「Is that fair?」と使ってみました。すると相手は少し考えて納得し、お互いペナルティはなしという条件で注文が決まりました。今では機械60台を使ってもらい、非常に高い評価をもらっています。

■ When is Japan's birthday?

外国に行くとき日本代表になります。なんでも聞かれる。1987年アメリカに行って2週間後に独立記念日がありました。その時間かれました。「日本の誕生日はいつ?どこから独立したの?日本ていつから日本のの?」海外の人とやりとりをするには、まず自国のことを知っておかないと駄目です。私は知っている限りのことを答えましたが、何となく自信がないので国語辞典や図書館で調べました。例えば国の由来、初代神武天皇、天照大神、伊勢神宮のことなど。こういうことは日本人としては是非、知っておいたほうが良いでしょう。

山形のことも聞かれます。例えば霞城公園の桜や羽黒山の五重塔のことなど。私は勉強して改めて山形のことを知り気付いたわけですがそれでも、気付くためには、いかに身の回りのことに興味を持って見るか、ということが大事なんだと思います。

■ 感謝の心

高校生は勉強さえしていればいいフルタイムのStudent。こんな素晴らしい環境は二度と戻ってこない。じゃなんで、普段なんとなく流されていくのか。例えば学校に来るのが当たり前、弁当持たせてくれるのが当たり前。この当たり前がおかしいんですね。「当たり前」の反対をありがたい「有り難い」と言います。感謝の心がないと恵まれていることに気づかない。ないものではなくある物に目を向けよう。そうするとありがたいの気持ちが生まれます。家に帰ったら言ってみて。

■ I have a Dream

これはアメリカの黒人開放運動家 Martin Luther King, Jr. の言葉です。みんなに聞きますが、夢がある人?私の夢は研削技術で世界一になること。ミクロン精密のみんなの力で世界一に登りつめてみたい。1番にならないと分からない気持ちってあるから。

夢がある人はそれに向かって一所懸命、努力していけばいい。ない人は目の前のことを一所懸命やればいい。こういう言葉があります。「正範語録」(榎原憲二バージョン)

『実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差

人格の差は苦勞の差 判断力の差は覚悟の差

真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る

いい加減だと言いつばかり 本気でやるから大抵のことは出来る

本気でやるから何でも面白い 本気でしていたら誰かが助けてくれる』

『努力して後悔した人を見たことがない。練習して下手になる人もいない。練習してもうまくなならない人はいるかもしれないけど、下手になる人はいない。勉強して馬鹿になる人もいない。何かをして変わった人はいても、何もしないで変わった人はいない』なので、目標を決めたらそれに向けて何かをしてみる。自分が何かをすれば、必ず何かが変わります。是非そういうことを考えてこれからの人生、生きてくれたらいいと思います。

■ 最後に

「国家の運命雄々しく負はむ」こんないい校歌世界中探してもないと思います。こんないい学校世界中にないので、さらにこれから先は「世界の運命も雄々しく負はむ」という人材に、是非育ってほしいと私は思います。



【講師プロフィール】

現職 ミクロン精密株式会社 代表取締役社長
出身地 山形県(1958年生まれ)
1977年 山形東高校卒業
1982年 早稲田大学商学部卒業
1985年 ミクロン精密株式会社 入社
1988年 MICRON-U.S.A.,INC.
(現連結子会社) Vice President
1999年 同社 President
ミクロン精密株式会社 取締役
2005年 MICRON-U.S.A.,INC.
Chief Executive Officer (現任)
2009年 ミクロン精密株式会社 代表取締役社長(現職)
2020年 山形経済同友会 副代表幹事

各同窓会だより

(順不同)

◇体育部OB会

○諸会議

常任理事会

令和2.11.19(木) 母校会議室
・今年度総会の持ち方について

理事会

令和2.12.4(金) 母校会議室
・今年度総会の持ち方について
・令和2年度決算・令和3年度予算
・強化費贈呈

総会・懇親会・表彰式

令和3.2.2(火) 山形グランドホテル
—新型コロナウイルス感染流行により中止—

○その他

例年、母校の隆盛発展のため体育行事等に本会3役が出席し激励しているところでしたが、軒並み中止となりました。全国大会出場部(フェンシング部個人3名)には、激励金を贈呈しました。

本会最大の行事である第66回総会はソフトテニス部、卓球部の当番幹事の下、盛大に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染流行により、常任理事会を経て理事会において理事の皆様から審議していただいた結果、残念ながら中止という判断に至りました。

理事会では中止の決定のほか、予算・決算などが承認され、新型コロナウイルス感染の一日も早い終息と来年度の開催を願い閉会いたしました。閉会后、森谷寛会長より須貝英彦校長に強化費の贈呈が行われました。

(事務局 仁藤 誠 記)



強化費贈呈

◇文化部OB会

例年7月に開催されてきた文化部OB会総会。今年度も当番幹事を始め関係各位には鋭意ご準備をいただいておりますが、コロナ禍により開催中止の止むなきに至ったことは誠に残念と言わざるを得ません。今回は目玉企画として山東ゆかりの蔵元の方々をお招きし、お酒にまつわるトークショーや各蔵元ご自慢の銘酒の飲み比べ等々、左党には堪えられないご提案ただけに、つくづくコロナ禍が恨めしい。また、令和3年度の総会も、現下の状況では開催の可否も含めて、

まだ見通しが見つからない状況にあります。

このような状況下ではありましたが、外部観客を入れずに本校生と保護者のみを対象に開催されましたマンドリン部・演劇部・吹奏楽部・音楽部の定期公演には、例年通りお祝いを贈呈させていただいております。ご報告かたがご承知おきいただければ幸いです。(事務局 寺崎 昌尚 記)

◇東京同窓会

2020年は東京同窓会創立70周年を迎える年でしたが、想定外の新型コロナ感染拡大により、企画していた記念懇親会は今年に延期とし、諸行事は自粛中止と致しました。年次総会だけは6月末に限定会員出席により開催し活動を維持致しました。7月の山東2年生にとって修学旅行に代わる大事な首都圏研修も中止となり大変残念でした。やまがた育英会駒込寮とのB B Q交流会もできず寂しい思いでしたが、新年初めに洋菓子の差し入れを行い寮で越年した学生に喜ばれました。今年は新型コロナウイルスと共存を図る年と考えます。山形東高のほまれと知見を發揮して、感染防止対策を十分に施した懇親会を7月3日にホテル椿山荘東京で開催する準備を進めております。詳しくは<http://uzen33.net>または「山形東高東京同窓会」で検索してホームページをご覧ください。

(会長 金井 浩一郎 記)

◇関西山中・山東同窓会

昨年度はCOVID-19禍により、総会懇親会を中止せざるを得ないという残念な結果になりました。役員改選の年でもありましたので、オンラインで幹事会を開催するなど知恵を出し合い10年ぶりに菱川道生氏から私 杉沼寛善(S43卒)に会長を引き継ぎ、暫定的ですが11月に新体制スタート、会員へは文書にて案内しました。正式には次回の総会で決定する予定です。幹事長に佐藤吉広(S50卒)、事務局長に小林正啓(S56卒校友)、幹事に塚原繁美(S63卒)、大谷雅之(H14卒)、監事に鈴木清司(S42卒)の各氏が就任。

当会には連絡をとれる会員が関西および西日本各地に約160名おります。一日も早くコロナ禍が収束し、元気な姿で一堂に会し交流できる日を楽しみにしております。

添付写真は、幹事会有志(2019年)の一コマです。

(会長 杉沼 寛善 記)



令和2年7月 最上川水害—県内の被害総額過去最大—

大石田支部

令和2年度は、コロナ禍の影響で同窓会まつりも中止になり、大石田支部もほとんどの活動が出来ませんでした。

そんな中、7月下旬の記録的な豪雨により最上川が氾濫し、町内の半数近くに避難指示が出るという、羽越水害(昭和42年8月)以来50数年來の災害に見舞われました。

会員内でも、庄司支部長の漬物工場が浸水し、名物のぺそら漬けの仕込み樽が全て駄目になったり、遠藤支部員の自宅が90cm以上の浸水に見舞われ、その後の片付け作業や住宅の改修で大変ご苦労されたようです。また、ほとんどの世帯が断水になり、自衛隊の給水車や他市町村の給水ボランティアの皆さんには大変助けられました。私自身も、親戚や全国ニュースを見た旧い友人たちからの多くの差し入れにはただただ感謝あるのみです。

令和3年度は、ワクチンの接種によりコロナの脅威が収まり、世の中のあらゆる活動に活気が戻り、そして同窓会活動も再開出来る事をご祈念いたします。

(事務局 大類 康裕 記)



浸水した家屋

7月28～29日の記録的豪雨で最上川が5ヵ所で氾濫するなど被害は県内各地に及びました被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます

明治40年 山形中学生徒書画作品集

2016(平成28)年の秋、母校の金庫から「明治四十年九月」と筆書きされた畳紙に包まれた生徒作品、習字37点、図画140点が発見された。1911(明治44)年、山形市北大火で校舎・寄宿舎は全焼したが、これらは、延焼を免れた土蔵に保管してあったのだろうか。保管状態もよく台紙に貼られており、記念行事や来賓の訪問時に展示された作品かと思われる。ちなみに、1908(明治41)年9月17日、皇太子(後の大正天皇)が東北地方行啓の折には山形中学にも来校され、「講堂で生徒成績品・教授用具展示を御覧になった」と『山東高百年史』に記されている。

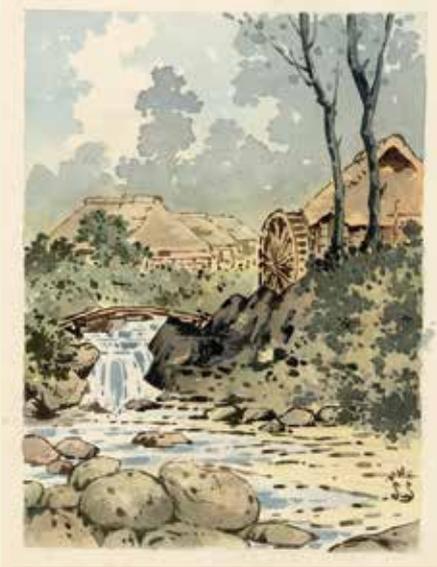
図画作品の一部をご紹介します。明治末に思いを馳せどうぞご覧ください。



東の風

心に残る作品を目指して

令和2年度放送部部长 村山 桃夏



12頁上段左から *学年は明治40年当時

鈴木 重志(3年)	山中23回
安井(相澤)兵治(1年)	山中25回
熊谷(東海林)素手吉(2年)	山中25回
武衛 岩雄(2年)	
武衛 岩雄(2年)	
廣岡 武(3年)	
安井(相澤)兵治(1年)	山中25回
會田 重吉(4年)	山中22回
杉原 太助(2年)	山中24回

13頁上段から

大久保(石澤)勸次郎(3年)	山中23回
作者不明	
庄司 好彰(2年)	山中24回

放送部の主な活動は各種大会への出場と演奏会等の司会です。私たちは昨年度の夏のNHK杯全国高校放送コンテストに部員全員で参加し、全国のレベルを実感しました。同じ年齢の高校生が全国という大きな舞台上で活躍



矢野牌 受賞

している姿に憧れを抱き、私たちもその舞台上に立つことを目標に練習・制作に励んできました。

大会にはアナウンスや朗読のような個人で出場する部門とドラマやドキュメント番組を複数人で制作する番組部門があります。アナウンスは自分で取り上げる話題を決め、取材して原稿を作って発表し、朗読は課題本や山形県とゆかりのある作品から一場面を切り取って発表します。私たちが練習の際に気をつけていたのは、「みんなでアドバイスし合う」ということです。先輩後輩関係なくアドバイスすることで自分の発表が相手にどのように聞こえているのかを知ることができ、発表のスピードや読み方を工夫することができました。番組制作では内容・構成を話し合い、撮影・編集をして作ります。制作する上で最も重要なのは「何でも言い合える空気」です。メンバーそれぞれの意見を取り入れながら制作を進めることで番組で一番伝えたいことを明確にしていきました。その結果、新体制になって初めての大会の県新人戦でアナウンス・朗読部門で5名、番組部門で3作品が東北大会出場を果たし、アナウンス・朗読・テレビキャンペーン部門で決勝に進出するという良い成績を残すことができました。

しかし、夏の大会に向けて意識が高まってきたところで新型コロナウイルスの感染が拡大し、目標としていた大会が中止になってしまいました。大会は中止になりましたが、最後に作品を作ってから引退しようと3年生で話し合い、新1年生を含めた部員全員でドラマを作成して番組制作における技術などを後輩に伝えることができました。今までは当たり前だと思っていた部活動ができることに改めてありがたみを感じました。また、オンライン開催されたWEB総文にアナウンス・朗読部門で3年生2名が参加し、3年間の集大成として良い発表をすることができたと思います。

放送部は昨年度に引き続き矢野牌という名誉と伝統ある賞を頂くことができました。夏の大会に出場したかったという気持ちは残りますが、最高の仲間と3年間部活動をできたことを嬉しく思います。また、これまでの活躍は顧問の先生方や撮影等に協力していただいた方々のおかげです。ありがとうございます。放送部はこれからも見た人、聴いた人の心に残る作品を目指して精進していきたいと思っています。応援宜しくお願いいたします。



お梅やみ

同窓会報72号掲載以降～令和3年3月31日までに判明した方々です 謹んでご冥福をお祈りいたします

平成19年 6月3日 工藤謙次郎 様 (山中50回)

平成29年 9月8日 大沼(上林)智恵子様(山東3回西) 12月26日 東谷(鬼海)常信 様(山中53回)

平成30年 1月16日 田中 義見 様 (山中61回) 2月7日 渡辺 真悦 様 (山東16回) 5月20日 島津 邦造 様 (山中53回) 8月3日 武田 昌憲 様 (一高2回) 8月24日 富樫 規明 様 (一高2回) 10月23日 秋保(山鹿)テイ 様(山東3回西) 12月28日 酒井 靖悦 様 (山東4回) 12月31日 加藤 良隆 様 (山東2回)

平成31年 1月9日 青木雄千代 様 (山中51回) 3月27日 伊藤 誠 様 (山東13回) 4月9日 三浦 豊司 様 (山中58回) 4月23日 窪田 稔 様 (山東2回)

令和元年 6月22日 鈴木 稔 様 (山東3回) 7月13日 高橋 啓吉 様 (山東5回) 7月27日 岩田 俊三 様 (一高1回) 8月24日 佐藤(辻)たまき 様(山東2回西) 9月19日 伊藤 馨 様 (山東6回) 9月20日 屋海 久夫 様 (併中1回) 9月24日 後藤 茂 様 (山東25回) 9月28日 平吹 慎吉 様 (旧職員) 10月2日 長島喜八郎 様 (山東1回) 10月5日 沖田 寛 様 (山東22回) 11月19日 早川 典生 様 (山東7回) 11月20日 佐藤 吉孝 様 (一高2回) 11月21日 小山田孝子 様 (山東14回) 11月27日 吉田 真 様 (山東2回) 12月5日 白田 尚 様 (山中60回)

12月11日 神山(茂木)和香子様(山東3回西) 12月28日 石田宏一郎 様 (山東12回)

令和2年 1月6日 東海林 弘 様 (山東3回) 1月17日 大野 稔一 様 (山中61回) 1月31日 稲村 明夫 様 (山東10回) 2月8日 斯波 忠郎 様 (山中60回) 2月14日 石沢 平治 様 (山中59回) 2月15日 松田 堯 様 (山中61回) 2月20日 佐藤(佐藤)光代 様(山東4回西) 2月27日 山口 正雄 様 (山東13回) 2月29日 今井 健一 様 (山東2回) 3月2日 渡辺鉄太郎 様 (山中58回) 3月5日 阿部(鈴木)郁子 様(山東1回西) 3月8日 作田 克之 様 (山東5回) 3月10日 阿部 晃次 様 (山中56回) 3月10日 鈴木(丹野)豊子 様(山東1回西) 3月18日 福島(中台) 宏 様(一高2回) 3月29日 奥山 邦彦 様 (山東2回) 4月 相田 勝彦 様 (山東13回) 4月4日 奈須野義清 様 (山東3回) 4月11日 大稔 剛平 様 (山中58回) 4月13日 滝口 正彦 様 (山東10回・旧職員) 4月25日 武田(大風)和子 様(山東2回西) 5月9日 佐藤 孝志 様 (山東17回) 5月12日 結城 利三 様 (山東61回) 5月14日 三浦 章 様 (山東1回) 5月20日 池田 史明 様 (山東25回) 6月5日 安藤 晴夫 様 (山東20回) 6月10日 須崎 邦彦 様 (旧職員) 6月13日 渡邊 健 様 (山中55回) 6月14日 杉浦 文明 様 (山東10回) 7月5日 工藤 道汪 様 (旧職員) 7月7日 齋藤 晴信 様 (一高2回) 7月8日 工藤 善尚 様 (山東3回) 7月19日 青山 (山東1回・元上山支部長) 7月22日 飯野 光男 様 (旧職員) 7月22日 皆川 良一 様 (山中58回) 7月26日 伊藤 貞夫 様 (山東3回・評議員) 8月1日 齋藤 常正 様 (山東4回) 8月20日 齋藤 一浩 様 (山東31回)

8月25日 皆川 泰信 様 (山東7回) 9月1日 秋葉 武夫 様 (旧職員) 9月3日 新関 正利 様 (山東4回) 9月6日 加藤 政広 様 (山東17回) 9月8日 島貫 壽 様 (山中59回) 9月8日 石井 幸三 様 (山東4回) 9月13日 結城 武則 様 (旧職員) 9月21日 大築勘一郎 様 (山中57回・旧職員・評議員) 10月5日 佐藤 寛 様 (山中58回) 10月6日 阿部 忠喜 様 (山東5回・旧職員) 10月9日 寒河江貞吉 様 (山中57回) 10月11日 五十嵐博一 様 (山東1回) 10月18日 齋藤 二良 様 (山中53回) 10月20日 佐藤 浩平 様 (山東10回) 11月1日 太田 定輔 様 (山中58回) 11月9日 美濃谷克夫 様 (山東7回) 11月10日 前田 吉勝 様 (山東4回) 11月17日 大内 和雄 様 (旧職員) 11月17日 佐藤 周邦 様 (山東16回) 11月19日 佐藤 明智 様 (山東3回) 11月29日 太田 正憲 様 (山東10回) 11月30日 富山 昭彦 様 (山東4回) 12月2日 片山 清喜 様 (山中56回) 12月4日 木村 滋 様 (山東7回) 12月7日 武田 晃 様 (山中61回) 12月16日 相澤(小林)滋代 様 (山東3回) 12月19日 高橋 秀昭 様 (山東13回) 12月20日 東海林啓五 様 (山中56回) 12月21日 今野 裕補 様 (山東3回) 12月23日 栗原 秀夫 様 (山中58回) 12月26日 吉江 正夫 様 (山中62回) 12月28日 伊藤 幸男 様 (旧職員)

令和3年 1月4日 三浦 元 様 (山東20回) 1月6日 岡田 恒治 様 (山東1回) 1月10日 新関彌一郎 様 (山東13回) 1月19日 高橋(佐藤)信子 様(山東9回) 2月21日 武田 敏行 様 (山東2回) 2月28日 山川 正 様 (山中62回)

山東奨学会

令和2年 5月11日 第17回理事会(書面決議) 令和元年度事業報告 決算の承認 理事・監事候補者の選任 6月2日 第7回評議員会(書面決議) 令和元年度事業報告 決算の承認 理事・監事の選任 6月11日 第18回理事会(書面決議) 理事長の選定 常務理事の選定 令和3年 2月24日 第19回理事会(書面決議) 令和2年度事業経過報告 令和2年度補正予算の承認 令和3年度事業計画 予算の承認 3月17日 奨学生審査会 3月29日 奨学金贈呈式 3名に贈呈

慶 祝

令和元年 11月3日 瑞宝小綬章 三浦 繁則 様(山東16回) 令和2年 4月6日 日本学士院賞 小嶋 稔 様(山中61回)

4月22日 日本地震学会賞 尾形 良彦 様(山東16回) 4月29日 瑞宝中綬章 浅井 慶一 様(山東8回) 瑞宝中綬章 峯田 敏郎 様(山東8回) 旭日小綬章 尾形 源二 様(山東19回) 瑞宝小綬章 石川 信義 様(山東16回) 旭日双光章 菊地 正明 様(山東17回) 旭日双光章 西村 修 様(山東18回) 瑞宝双光章 開沼 哲男 様(山東13回) 瑞宝双光章 鈴木 将機 様(山東13回) 瑞宝双光章 齋藤 栄一 様(山東18回) 11月3日 瑞宝重光章 結城 章夫 様(山東17回) 旭日小綬章 永田 秀昭 様(山東19回) 瑞宝小綬章 大滝 潤二 様(山東17回) 瑞宝小綬章 高橋 邦芳 様(山東19回) 旭日双光章 高橋 秀昭 様(山東13回) 瑞宝双光章 渋谷 光夫 様(山東16回) 瑞宝双光章 千葉 栄一 様(山東18回)

12月10日 三浦記念賞 鈴木 隆一 様(山東23回) 令和3年 2月2日 旭日小綬章 三浦 元 様(山東20回) 3月1日 瑞宝小綬章 小笠原正亮 様(山東1回)

篤志寄付

令和2年 10月30日 図書購入費 10万円 探究活動支援費 10万円 山形市役所東高会 10月30日 鈴木 孝美 様(山東11回) 作 ブロンズ製レリーフ 「famiglia(*イタリア語で家族)」 鈴木家ご遺族様 令和3年 2月5日 教育後援会へ寄付 110万円 山形東高同窓会 2月19日 教育奨励費 20万円 (文化部・運動部奨励費10万円 図書購入費5万円 奨学会基金5万円) 山形県庁東高会 3月吉日 新応援歌「みなぎる力」混声合唱編曲作品 服部 公一様(山東2回)

会報72号でご報告した三浦繁則様の 受章記録に誤りがありました 上掲の通り訂正しお詫び申し上げます

職員動向

本校に係る令和2年度末の人事異動をご報告します

〈転出者〉(敬称略)

丹野 学(教頭・3年) 左沢高校・校長へ
武田三十郎(国語・18年) ご退職
佐藤 陽一(保体・11年) ご退職・本校再任用
寺崎 昌尚(国語・2年) ご退職

矢口 和代(保体・10年) 上山明新館高校へ
高橋さゆり(数学・6年) 新庄南高校へ
本宮 康寛(地歴・6年) 教育センターへ
吉田 真希(数学・3年) 山形工業高校へ
河野 崇(地歴・2年) 寒河江高校へ
菊池 義人(保体・1年) 山形中央高校へ
渡邊 正三(英語・1年) 山形南高校へ
飛塚 岬(家庭・1年) 神室産業高校へ

〈転入者〉(敬称略)

阿部 好弘(教頭) 山形南高校より
山澤 宏行(国語) 山形中央高校より
加藤 浩(地歴) 上山明新館高校より
庄司 隆志(地歴) 寒河江高校より
佐藤 歌穂(数学) 山形北高校より
長岡 陽子(保体) 左沢高校より
折原 寛博(英語) 東桜学館高校より
矢口 理子(家庭) 北村山高校より
星 潤哉(数学) 新採

令和3年度 同窓会役員

役員表: 会長 高橋 一夫, 副会長 高矢 秀弥, 幹事長 高桂 宣均, 副幹事長 高永 井聡, 幹事 清野 寿啓, 監事 伊勢 田昌, 事務局長 高渡 辺季

評議員表: 山中55回 昭南会 設 栄 隆, 山中58回(4) 銀河会 西 久 久, 山中59・60回 太平会 佐 藤 良, 山中62・高畑 ふたば会 今 野 成, 山東1回 東一会 木 村 雅, 山東2回 東友会 登 坂 光, 山東4回 東四会 阿 口 諒, 山東5回 古稀会 山 口 隆, 山東6回 六翠会 小 松 公, 山東7回 一行会 真 田 宗, 山東8回 東八会 深 瀬 智, 山東9回 東鳩会 伊 逸 見, 山東10回 東濤会 齋 藤 誠, 山東11回 東土会 齋 藤 伸, 山東12回 東睦会 井 上 一, 山東13回 三山会 秋 葉 正, 山東14回 龍雲会 龍 雲 敏, 山東15回 笑龍会 宇 治 幸, 山東16回 竹馬会 蜂 屋 幸, 山東17回 六七会 川 越 進, 山東18回 東哉会 伊 藤 俊, 山東19回 龍雲会 滝 千 夫, 山東20回 翠巒会 千 歳 誠, 山東21回 四六会 後 藤 一, 山東22回 主一会 大 築 信, 山東23回 志也会 佐 藤 蔵, 山東24回 東翼会 高 橋 穰, 山東25回 九重会 齋 藤 篤, 山東26回 互一会 野 口 祐, 山東27回 東紋会 小 関 一, 山東28回 天馬会 伊 藤 三, 山東29回 共一会 江 袋 一, 山東30回 東翔会 浅 黄 宏, 山東31回 五六会 兒 玉 克, 山東32回 槌音会 鏑 水 功, 山東33回 継世会 佐 藤 英, 山東34回 双鸞会 小 林 直

評議員表 (続): 山東35回 百東会 荒 木 秀, 山東36回 雙號会 赤 井 木, 山東37回 鴻紀会 青 小 秀, 山東38回 東龍会 青 小 寛, 山東39回 魁成会 小 鈴 木, 山東40回 東駿会 高 橋 清, 山東41回 翔洋会 吉 村 祐, 山東42回 志成会 米 吉 本, 山東43回 東鵬会 今 野 野, 山東44回 東阜会 進 藤 義, 山東45回 百珠会 黒 沼 沼, 山東46回 東玲会 高 梨 芳, 山東47回 東凌会 阿 峯 田, 山東48回 天成会 天 成 野, 山東49回 東珀会 丹 野 一, 山東50回 雙紀会 佐 竹 竹, 山東51回 東晝会 佐 竹 秀, 山東52回 東愛会 大 沼 達, 山東53回 東魂会 宇 鈴 木, 山東54回 東粹会 佐々木 健, 山東55回 東節会 山 川 晃, 山東56回 瑞雪会 武 田 弘, 山東57回 和成会 小 林 大, 山東58回 重友会 小 伊 藤, 山東59回 結昇会 武 田 大, 山東60回 六黎会 阿 部 龍, 山東61回 勢翔会 高 橋 裕, 山東62回 栄継会 伊 藤 佑, 山東63回 六三志会 伊 松 永, 山東64回 天晶会 桂 木 悠, 山東65回 勲東会 結 城 龍, 山東66回 東緑会 大 沼 類, 山東67回 東標会 菊 池 上, 山東68回 讚燦会 池 航, 山東69回 成節会 安 達 良, 山東70回 令明会 金 山 由, 山東71回 健穩会 國 井 信

顧問表: 浜田 敏 第10代会長, 遠藤 來二 第29代校長, 日野 正 第33代校長, 山川 博史 第35代校長, 佐藤 敏彦 第36代校長, 伊藤 和夫 第37代校長, 勝見 英一朗 第38代校長, 相馬 周一郎 第39代校長, 渡部 泰山 第40代校長, 柳谷 豊彦 第41代校長, 菅間 裕晃 第43代校長, 佐藤 俊一 第44代校長

相談役表: 森谷 寛 体育部OB会長, 吉田 眞一郎 文化部OB会長

地域・職域同窓会

地域・職域同窓会表: 同窓会名, 会長・支部長, 事務局, 連絡先. 例: 山形東高同窓会 金井 浩一郎 〒102-0093 東京千代田区平河町2-6-3

山形中学校の修学旅行(明治編)

はじめに

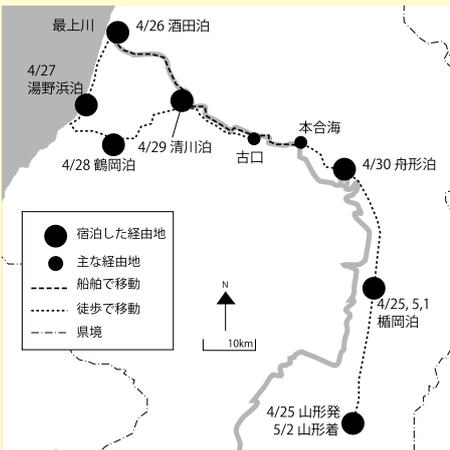
「山東には修学旅行がない」というのは伝統であり自明なものだと思っていた。山東を卒業後、私は大学で歴史地理学のゼミに入り、旅行史に興味を持った。卒業論文の題材を遊学館で探していると、昭和11年度の『共同會雑誌』（現在の生徒会雑誌のようなもの）が見つかり、「四年關西旅行記」という記事のページをめくると、旅行のルート、見学先、感想まで細々と掲載されているではないか！山形中学校(以下、山中)に修学旅行が存在していたことに驚くとともに、私自身の関心ともぴったり重なった。

ここでは、卒業論文として提出した「明治期から昭和戦前期における修学旅行に関する歴史地理学的研究—山形県の旧制中学校・高等女学校を事例に—」の一部を、拙い文章ではあるが、記していきたい。なお、研究には山中が発行した『共同會雑誌』を主に用いさせていただいた。

明治期の修学旅行

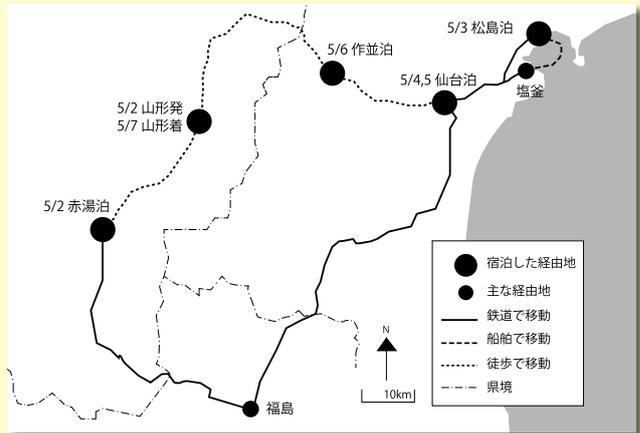
山中初の修学旅行は明治23(1890)年にあり、上野の内国勸業博覧会の見学等をしていたことがわかったが、詳しいことはわからなかった。

明治30年代になると、修学旅行に関する記事が充実してくる。まず、明治32(1899)年には1、2年生が庄内に向かった旅行を取り上げたい。



この時期の修学旅行は、とにかく歩いている(明治32年は奥羽線がやっと米沢まで開通する頃)。行程表を見ると、旅行の半分を徒歩移動に費やしている。記事の最終日の部分には、「一

4月25日	6:00 山形中学校に集合、徒歩で出発 9:30 天童に到着。 14:30 楯岡に到着し、宿泊。 23:30 起床
4月26日	0:00 楯岡を出発 3:30 最上川湖畔の本合海に到着。 4:30 6艘に分かれて乗船。 15:00-16:00 酒田に到着。宿に荷物を置き、生徒それぞれが酒田を見学。 21:00 就寝
4月27日	6:00 起床 酒田の町を見学。酒田取引所、米倉、本間家別荘 9:30 酒田高等小学校、日吉神社、最上川河口、砂浜を見る。 11:00 湯野浜まで海沿いに徒歩で向かう。 17:30 湯野浜に到着。温泉に入る。 21:00 海辺の夜景を眺める。
4月28日	10:30 出発 加茂港を経て、大山で昼食。 16:00 鶴岡町に到着。鶴岡の散策。
4月29日	7:30 宿を出発し。市街を回る。庄内神社、庄内中学校を訪問。 17:00 清川に到着。
4月30日	5:00 起床、出発。船で本合海へ向かう。古口で昼食を摂る。 本合海で下船後、徒歩で舟形に向かう。 18:00 舟形に到着。
5月1日	5:00 起床。徒歩で楯岡へ向かう。 猿羽根峠を越え、尾花沢の入口で昼食。 16:00 楯岡に到着。 20:00 就寝
5月2日	朝遅く楯岡を出発し、天童で昼食をとる。 16:30 山形中学校到着。



5月2日	22:30 山形中学校を徒歩で出発。
5月3日	1:30 上ノ山で休憩 4:00 中山で休憩 赤湯に到着し、汽車で赤湯から福島経由で仙台へ。 15:27 仙台着。先輩の高等学校生に迎えられる。松島へ汽車で向かう。 16:24 松島着。新富山に登る。 宿泊。
5月4日	8:00 松島江に整列。瑞巖寺に参拝。 船で塩釜に向かう。 正午 塩釜到着。塩釜神社参拝。 仙台に向かい、仙台で第二高等学校学生に迎えられる。仙台に宿泊。
5月5日	8:00 集合し、仙台市内の見物に出発。 午前 林子平の墓、練兵場、紡績社、第二師団司令部 午後 愛宕山で昼食 14:00 宮城中学校を訪問し、参観。その後自由散歩。 宿に帰る。宮城中学校の職員生徒の訪問を受ける。多くの菓子をもらう。
5月6日	8:00 仙台出発。作並に徒歩で向かう。 17:00 作並温泉到着。
5月7日	5:00 作並温泉出発。 関山峠を越える。 11:30 関山村で昼食。 夕方 山形中学校到着。

同今となりては益々疲れはて、歩む勇氣も全く失せ、「その重き足をば曳きずり」歩いてたという。一方、酒田の海岸に行った4月27日の記事には「壮大よ！開闢よ！白き波よ！青き水よ！沖よ！沙よ！」我等は唯しく叫ぶのみ」と興奮している様子も見られる。今こそ車ですぐに海を見に行けるが、当時の彼らにしてみれば、遠い庄内地方の海は新鮮なものであったのだろう。

次に、宮城県方面の旅行を見てみたい。小欄では明治33(1900)年の修学旅行を取り上げる。

この修学旅行では往路は徒歩と鉄道で移動している。赤湯発の始発列車に乗るため、1日目は深夜出発だったようだ。「提灯も(中略)三ツ四ツのみとなりたれば後の人などには見えぬことのみ多くて或は石につまづき或は泥中に陥り実に苦しかりしならん」と当時の歩行に苦勞していたことが垣間見える。徒歩の後は、鉄道も用いている。仙台市や松島・塩釜を見学していたのは予想できることだが、復路はわざわざ一泊増やし、関山峠越えの徒歩で帰っているのである。今の感覚からすれば驚きに値する。鉄道があるなら鉄道を使えばよいと思うのだが、当時の修学旅行には、「修学」だけではなく「鍛練」の役割もあったからこそ、このような旅程になっているのだろう。この後、大正初期までは、宮城県方面の旅行の復路は徒歩での移動になっている。

取り上げた2例のほか、明治期は村山・置賜方面(2~4日間)、新潟・会津方面(11日間)、関東方面(なんと15日間!)など、様々な方面へ、長期間にわたって修学旅行を行っていた。大正期以降は、修学旅行の形が一定になるが、この頃は旅行を計画する側も、様々な思考錯誤を行っていたのかもしれない。

大正期・昭和戦前期の修学旅行は、次稿で述べたいと思う。

古藤 直輝(勲東会)

編集後記

2020年は世界中が新型コロナに翻弄された年でした。オリンピックも東京同窓会の70周年記念懇親会も延期。母校東高もリモート授業から始まり、体育祭中止(新3年は1年次も台風で中止)、一般客なしの学校祭、国際探究科の海外研修も沖繩になり、最後はそれも中止。交流はZOOM、ZOOM、ZOOM……。同窓会報を担当し、しみじみと人と人の絆のありがたみを感じた1年でした。ありがとうございました。
大江 悌(魁成会) 楨 紀子(東駒会) 高橋 明子(東玲会)